

北見市上下水道審議会資料

平成 27 年 8 月 20 日

目 次

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 合流式下水道緊急改善事業事後評価について | …… P 1～2 |
|-------------------------|----------|

上下水道局

(様式 3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート (案)

評価実施年月：平成 27 年 3 月

1. 対象事業	北見市合流式下水道緊急改善事業																		
2. 実施主体名称	北海道北見市																		
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度																		
4. 対象事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none">合流区域の一部 (396ha) を分流化。(合流区域面積：当初 875ha→479ha) [H17～H25]雨水滞水池 8,700 m³を平成 21 年度より供用開始。[H19～H20]きょう雑物対策として雨水吐室 8 箇所に、スクリーン施設を設置。[H18～H21]																		
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<ul style="list-style-type: none">目標の達成状況<ul style="list-style-type: none">(1) 汚濁負荷量の削減(2) 公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数)(3) きょう雑物の削減 (対策を講じた雨水吐の箇所数) <table border="1"><thead><tr><th>区 分</th><th>平成 17 年度 実施前 (合流式)</th><th>平成 25 年度 目標値 (分流並)</th><th>平成 26 年度 実施後 (事後評価)</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1) 汚濁負荷量の削減</td><td><ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 188,816kg ①削減量 0kg</td><td><ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 164,551kg ②①－② = 24,265kg</td><td><ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 164,487kg ③①－③ = 24,329kg</td></tr><tr><td>(2) 公衆衛生上の安全確保</td><td><ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 381 回</td><td><ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 151 回</td><td><ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 138 回</td></tr><tr><td>(3) きょう雑物の削減</td><td><ul style="list-style-type: none">きょう雑物対策なし</td><td><ul style="list-style-type: none">雨水吐室 8 箇所にスクリーンを設置</td><td><ul style="list-style-type: none">雨水吐室 8 箇所にスクリーンを設置済</td></tr></tbody></table> <ul style="list-style-type: none">改善期限までの目標達成の見通し：必要な全対策の整備が完了し、供用開始済みである。			区 分	平成 17 年度 実施前 (合流式)	平成 25 年度 目標値 (分流並)	平成 26 年度 実施後 (事後評価)	(1) 汚濁負荷量の削減	<ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 188,816kg ①削減量 0kg	<ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 164,551kg ②①－② = 24,265kg	<ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 164,487kg ③①－③ = 24,329kg	(2) 公衆衛生上の安全確保	<ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 381 回	<ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 151 回	<ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 138 回	(3) きょう雑物の削減	<ul style="list-style-type: none">きょう雑物対策なし	<ul style="list-style-type: none">雨水吐室 8 箇所にスクリーンを設置	<ul style="list-style-type: none">雨水吐室 8 箇所にスクリーンを設置済
区 分	平成 17 年度 実施前 (合流式)	平成 25 年度 目標値 (分流並)	平成 26 年度 実施後 (事後評価)																
(1) 汚濁負荷量の削減	<ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 188,816kg ①削減量 0kg	<ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 164,551kg ②①－② = 24,265kg	<ul style="list-style-type: none">年間総汚濁負荷量 (BOD) 164,487kg ③①－③ = 24,329kg																
(2) 公衆衛生上の安全確保	<ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 381 回	<ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 151 回	<ul style="list-style-type: none">未処理放流回数 138 回																
(3) きょう雑物の削減	<ul style="list-style-type: none">きょう雑物対策なし	<ul style="list-style-type: none">雨水吐室 8 箇所にスクリーンを設置	<ul style="list-style-type: none">雨水吐室 8 箇所にスクリーンを設置済																
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<ul style="list-style-type: none">雨天時モニタリング調査 (平成 26 年 10 月 14 日、総降雨量：28.5 mm) 及びシミュレーション解析結果より、雨天時公共用水域への放流 BOD 平均が 40mg/l 以下を確認。 (雨水吐室 No. 3:20mg/l、雨水吐室 No. 5:27mg/l、処理場：17 mg/l)																		
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none">「完全分流」や「簡易処理の高度化」といった対策案と比較し、経済的かつ早期に改善効果の発現が可能な「雨水滞水池＋部分分流化」を採用して、平成 25 年度に事業完了。																		
8. 今後の方針	<ul style="list-style-type: none">事業の完了により、当面の改善目標は達成できているが、継続的に観察及び水質調査を行い、環境部局とも連携を図りながら、公共用水域の水質保全に努める。																		

※ 様式 3 のほか、アドバイザー会議を実施した内容を示す資料を添付すること。

BODについて

1. BOD（生物化学的酸素要求量、Biochemical Oxygen Demand）とは

BODは、生物化学的酸素消費量とも呼ばれ、河川の水位汚濁、汚水処理でも最も重要な指標の一つです。

汚水中の有機物が好気生微生物の生物化学反応（酸化）によって分解される時に消費される酸素量のことを言います。普通20℃、5日間で使われた酸素の量です。

（簡単に話せば、水中の微生物がよごれ（有機物）を食べるために使った酸素の量です。）

2. BOD基準値、目安について

項 目		BOD値(mg/ℓ)	
雨天時における合流式下水道からの放流水の水質基準		40	
晴天時における浄化センターからの放流水の水質基準		15	
項 目	目安のBOD値(mg/ℓ)	利 用 目 的	
環境基準 河川 AA 類型	1以下	人為的汚濁のない河川	
環境基準 河川 A 類型	2以下	ヤマメ、イワナなどの清水性魚類	
環境基準 河川 B 類型	3以下	サケ、マス、アユ	
環境基準 河川 C 類型	5以下	比較的汚濁に強いコイ、フナ類	
処理施設への流入下水	200		
家庭排水 米のとぎ汁	3,000		
家庭排水 みそ汁一杯	35,000		
家庭排水 しょう油	100,000		

常呂川の環境基準：上常呂金比羅橋 上流 A 類型、下流 B 類型